

2 飢餓を  
ゼロに



世界の食糧問題を  
考えてみよう

画像出典：A good thing, Start here  
[https://gooddo.jp/magazine/hunger/children\\_hunger/616/](https://gooddo.jp/magazine/hunger/children_hunger/616/)

## ▼ 目次【VOL.141】

- 2-3 【特集】食と栄養について
- 4-5 九州地域NGO活動助成金
- 6 NGO合同説明会
- 7 正会員団体活動レポート 他
- 8 NGO出張サービス

### ～世界の問題に目を向ける～

日本に住んでいる私たちにとって、「ご飯が食べられない」という問題はあまり身近に感じられない人も多いでしょう。しかし、世界には食糧を満足に得られない人々は数多くいます。今回は、世界の食糧問題について解説をしていく中で、飢餓と子どもの栄養という観点に注目します。

### 飢餓や子どもの栄養不良

世界では今も食糧問題に悩まされている国や地域が多く、飢餓は世界中の国で取り組むべき深刻な問題です。紛争や武力衝突からの避難、気候変動による食糧不足、またそれによる食糧の価格高騰など様々な問題が絡み合い十分な食糧確保ができない状況が続いています。また、子どもの時期に必要な栄養素が足りていないことで、発育障害を患ったり、将来の学習や雇用の機会を失ったりする可能性も孕んでいます。このような問題を解決するために先進国に暮らす私たちは何ができるか、一緒に考えていきましょう！



## 飢餓には2種類：突発的な飢饉と慢性的な飢餓

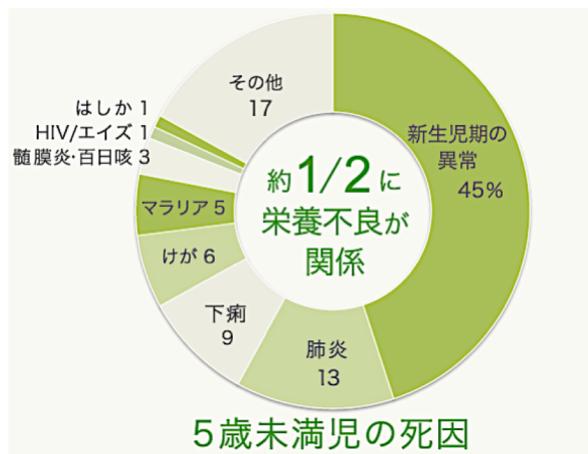
飢餓とは、長期間にわたり十分に食べられず栄養不足となり、生存と社会的な生活が困難になっている状態をさします\*1。国連世界食糧計画(WFP)や国連食糧農業機関(FAO)などは、2020年に世界人口の約10%に当たる約8億1100万人が栄養不足に陥っており、これは新型コロナウイルス感染拡大の影響で2019年の6億5030万人から急増した数字だとする報告書を発表しました\*2。飢餓は、地域や引き起こされる原因や期間によって「飢饉」と「慢性的飢餓」の2つに分けられます。飢饉は、特定の国や地域で起こる干ばつや洪水などの自然災害、紛争などの突発的な原因によって起こります\*3。食料が急激に不足し、多くの人々が餓死や重度の栄養不足に陥ります。ニュース等で扱われることも多く、原因が緩和・解決されるまでの一定期間、世界中から緊急食料支援が集まりやすいです。

一方、栄養不足の人口のほとんどを占めるにもかかわらず、世界から比較的注目されることが少ないのが慢性的飢餓です\*4。農業の生産性が低い、雇用賃金が安いなどの地域課題だけでなく、不公正な貿易のしくみのような地球規模での課題も原因です。また、政治・教育・環境など様々な要因が組み合わさっていることや、直接の死因が餓死ではなく栄養不足による病死であることから解決が後回しにされがちです\*5。そのため、多くの人々はいつまでも十分に食料を手に入れることができず栄養不足の状態が続きます。

## 飢餓がもたらす子どもの栄養不足とその影響

飢餓による影響を最も受けるのは、発展途上国に暮らす貧しい人々です。特に、成長期の子どもの影響は深刻です。

世界の5歳未満児の死因を見てみると、全体の約1/3が安価な薬で治すことができる肺炎や下痢、マラリアなどとなっています。また、死因の約半数は栄養不足が関係しています\*6。栄養不足とは、健康に育つためのバランスのとれた栄養が摂取できていない状態を示し、発育阻害、消耗症、低体重、過体重などの形態があります\*7。栄養不足の子どもの中には、複数の形態を示すケースもあります。



出典: Committing to Child Survival: A Promise Renewed Progress Report 2015/ ユニセフ

また、命を落とさないまでも栄養不足は子どもの発育を妨げ、大人になっても十分に働くことができなかつたり、知的障害を引き起こしたりします\*8。妊娠・出産する女性が十分な栄養をとることも、生まれてくる子どもの成長やその後の発育に影響を与えるため重要です。このように、飢餓が引き起こす栄養不足は生涯にわたり人々の生活を左右する深刻な問題です。

\*1: <https://www.hungerfree.net/hunger/whtshunger/>

\*2: <https://news.yahoo.co.jp/articles/89be786285f3c5adfedae8d1a36970a25b4a2576>

\*3: <https://www.hungerfree.net/hunger/whtshunger/>

\*4: <https://objapan.org/reports-world/from-the-countries-of-the-world-to-help-with-chronic-hunger/>

\*5: [https://gooddo.jp/magazine/hunger/children\\_hunger/](https://gooddo.jp/magazine/hunger/children_hunger/)

\*6: [https://gooddo.jp/magazine/hunger/children\\_hunger/514/](https://gooddo.jp/magazine/hunger/children_hunger/514/)

\*7: <https://data.unicef.org/resources/jme-report-2021/>

\*8: [https://www.unicef.or.jp/about\\_unicef/about\\_act01\\_02.html](https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_act01_02.html)

## 先進国の子どもにとっても足りていない必要な栄養素

発展途上国での飢餓・食糧問題だけでなく、先進国の子どもも栄養が不足している場合があります。幼少期には、「食べる」ことだけではなく「栄養が取れているか」を考慮して食事をする必要があります。食べることを楽しみつつ、健康にも留意しましょう。

栄養素名	不足した場合
ビタミンA	・体の免疫力が低下し、下痢や肺炎などが悪化しやすくなる
鉄	・貧血症にかかる ・妊婦の出産時に大量出血の危険性 ・生まれた赤ちゃんの発育と知能の障害
たんぱく質	・成長が止まり、いつまでも歩き出すことができないなどの発育障害に陥る
ヨード	・首に大きなコブのようなものができてしまう甲状腺腫が発生 ・知的発達が損なわれ、成長が妨げられる

[https://gooddo.jp/magazine/hunger/children\\_hunger/618/](https://gooddo.jp/magazine/hunger/children_hunger/618/) を基に作成

## 12月7・8日 「東京栄養サミット2021」開催

オリンピック・イヤーに開催国で行われる国際会議、東京栄養サミット2021では、栄養に関する多様な分野について議論され、各国政府・国際機関・民間企業・市民社会が今後の課題解決に向けた取り組みを発表しています。発表された誓約が今後どう達成されていくか注目していくことも私達市民ができる関わりの一つです。栄養サミットについては下記サイトをご覧ください。

(<https://nutritionforgrowth.org/events-japanese/>)

FUNNの加盟団体にも、5ページで紹介している昆虫食に取り組むISAPHや、母子保健に取り組むバングラデシュと手をつなぐ会のような団体があります。世界の栄養課題は大きな問題ですが、こうしたNGOも含めた幅広いセクターの関わりが解決につながっていくのではないのでしょうか。

## 多文化共生コラム ②

第2回目の多文化共生コラムのテーマは外国人技能実習生についてです。テレビや新聞では「技能実習生の失踪」などネガティブな話題で取り上げられることも多いですが、少子高齢化の日本社会において彼等が社会に貢献しているプラス面はあまり取り上げられません。今回はあなたの身近に暮らしているかもしれない技能実習生について考えていきましょう。

### 『技能実習生が作ったもので溢れている』

そもそも技能実習制度とは、「日本で培われた技能・技術又は知識の開発途上地域等への移転を図り、当該開発途上地域等の経済発展を担う人づくりに寄与するという国際協力の推進」という目的があります\*1。つまり、技術の伝達という趣旨があり、安い労働力として海外から人を雇用する制度ではありません。私たちの身の回りを見渡すと、多くの品物が技能実習生によって生産されています。例えば、衣服、椅子や机、車のタイヤ、コンビニ弁当、食卓に並ぶ野菜や魚などが挙げられます。生産・製造・流通の過程で多くの技能実習生が関わっています。2021年現在、85職種156作業が技能実習生の受入れが可能\*2。主な職種としては、農業・食品加工・宿泊・金属加工・溶接・塗装などです。また、建設や介護といった日本人から敬遠されがちな分野においては、今後も技能実習生が必要とされています。その一方、アメリカ国務省や人権団体からは、技能実習制度の転職制限などが人権侵害にあたるとの指摘もあります\*3。安い労働力としてではなく、「貴重な人材」として彼等が働きやすい職場と暮らしやすい社会を目指していきましょう。

\*1: <https://we-xpats.com/ja/biz/as/jp/detail/83/>

\*2: <https://www.myanmarunity.jp/system/473/>

\*3: <https://news.yahoo.co.jp/articles/9890937f0673f003c5d532a6b500b21da0ad9aa5>



NGO福岡ネットワーク（FUNN）が真如苑様と共同で実施している九州地域NGO活動助成金。2021年度は7団体からの応募があり、9月25日に半公開式で行われた外部有識者等による選考審査会を行いました。2021年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から審査会場（対面）とオンラインどちらからも参加可能な形式で実施しました。当日は対面とオンライン参加が半々で、応募団体からは「今までは遠方で参加しづらかったが、オンラインでも参加できるようになりより気軽に応募できるようになった」とお声をいただきました。今年度申請プログラムではご応募いただいた各団体とも課題は様々でしたが、NGOの立場からしか解決できない課題解決に活用していただけたことと、審査会でも審査委員からのアドバイス等活発な意見交換があり大変有意義な機会となりました。今回採択した事業につきましては、今後もFUNN事務局にて定期的に事業の進捗状況の確認や相談等継続的にサポートします。

また、各団体の採択プログラムの報告もFUNNホームページで定期的に発信します。九州地域のNGOを育て応援することがこの助成プログラムの目的の一つです。「初めて助成金を申請するが申請書の書き方が分からない」「こんな事業・経費でも助成してもらえるだろうか？」といった応募前の準備段階から採択後の事業実施にかかる相談までFUNN事務局スタッフがサポートいたします。



【上】審査会の様子。オンライン参加団体は、Zoomを使い発表を行いました

### 【応募団体と事業名一覧】

団体名	実施事業名
(特活) じゃっど	学校を基点としたコロナに負けないコミュニティ作り
(任団) 子どもに能楽を勧める会	第12回 子どもと留学生の能楽発表会
(特活) バングラデシュと手をつなぐ会	サテライトクリニック（SC）再開のための実行可能性調査
(認活) 地球市民の会	日緬の若者が共に学び考える「持続可能な食糧生産アクションプラン」
(特活) ISAPH（アイサップ）	フードモデルを活用したラオス・マラウイ農村部の栄養問題に関する情報発信力強化事業
(一社) モザンビークのいのちをつなぐ会	モザンビーク共和国スラムの学び舎・寺子屋における公衆衛生活動
(特活) トウマンハティふくおか	活動20周年記念誌および特設webサイトの作成



### 【フードモデルを活用したラオス・マラウイ農村部の栄養問題に関する情報発信力強化事業】

NPO法人ISAPH 村上 麻友子

私たちISAPHはラオス・マラウイの農村部にて保健医療協力を実施する団体として、母子保健、栄養改善に関する活動を行うNPO法人です。

この度助成いただきました「九州地域NGO活動助成金」により、私たちの活動地域にて一般的に食べられている食事の「フードモデル」を作成することが出来ました。

早速、先日開催されました「グローバルフェスタ JAPAN 2021」のISAPHの展示ブースにて作成したフードモデルを展示いたしましたところ、多くの学生や家族連れの方にご覧いただく事ができました。実際の量や見た目に加え、活動地での栄養の問題をご説明し、現地の方が料理を作っている映像をご覧いただくことで、栄養の偏りの問題・食べ物の問題がより身近に感じていただけたようです。

普段の生活からは感じる事の出来ない問題を、フードモデルとして提示することでより「実感」を持って体験する機会をご提供できたと思います。今後もイベントや出張講義等で活用させていただきたいと思っております。FUNNの皆様、このような機会をいただき、誠にありがとうございました。



【左】ラオス料理『コオロギとコブミカンの葉の炒め物』のフードモデル

### 【真の国際医療協力とはなにか～サテライトクリニック会議を通じて感じたこと～】

バングラデシュと手をつなぐ会

正会員 富貴田 景子

国際医療協力がしたいと思い、国立国際医療センター附属看護学校に入学して丸30年。今年はサテライトクリニックプロジェクトのメンバーに選出させていただき、月1回2時間ショング二病院スタッフとオンライン会議を行っています。日本にいなながらこのような活動が出来ることは、当時は考えられませんでした。長年の夢がかない、とても充実した幸せな日々を送らせてもらっています。

ショング二病院の理念は『コミュニティ・ベースド・ホスピタル=村人に自分の身体を自分で管理するという意識を高めること』です。その実践として、サテライトクリニックでソーシャルワーカーが2000世帯の家族を把握し、妊産婦・子どもの健康を守るだけではなく、村民の悩みにまで耳を傾けていた話は、「これぞまさしくソーシャルワークだ！」と感銘を受けました。「真の国際医療協力とはなにか」という疑問に自問自答を繰り返す日々ですが、対話を重ね、知恵を出し合い、「手をつなぐ」ことで未来が開けることを信じて、これからも一歩ずつ歩いていければと思っています。



【上】サテライトクリニック会議



## NGO合同説明会

### 2年ぶりに開催！

#### 「NGO合同説明会 in 西南学院大学」

コロナ禍の影響で昨年開催を見送ったNGO合同説明会ですが、今年は10月13日（火）午後西南学院大学ボランティアセンター様との共催で開くことができました。テーマは「みぢかなNGOを知って国際協力の一步をふみ出そう！」。参加団体は、ISAPH、国際ワークキャンプセンターNICE、地球市民の会、トゥマンハティふくおか、バングラディシュと手をつなぐ会、フレンズ国際ワークキャンプ九州、ボランティアプラットフォーム、NGO福岡ネットワークの8団体でした。今年は学生にNGO活動を知ってもらい、近郊で開催されるイベント等にボランティアで参加してもらおう趣旨でした。ちょうど緊急事態宣言が解除され対面開催も可能となりました。当日は30名ほどの学生さんが参加し、各団体ブースを回り熱心に話を聴いていました。感想も「NGOの話が直接聞けてよかった」など、開催できてよかったと思うものが多くありました。コロナ禍で学生の皆さんもいろいろな体験機会が奪われていると思います。私達も今後も少しでも機会を提供していきたいと思えます。



【上】対面開催ができ、およそ30名の学生さんが参加

【下】自団体の活動紹介を行うフレンズ国際ワークキャンプ九州



## 第21期NGOカレッジ

### 第21期NGOカレッジ

#### 「#平和のつくり方～NGOの目線から～そして私たちは？」

SDGs16「平和と公正をすべての人に」…世界各地から人々の平和を脅かす状況が伝わってきます。私たちはこの状況をどう考える？そこで暮らす人々の思いは？NGOはどんな活動を？

NGOの目線から見えてくるものを学び、「平和をつくる」ために何が出来るか一緒に考えましょう。各回グループワークも行います！

【日時】2022年2月19日～3月5日、全3回

【会場】ももち文化センター研修室2とZoomによるハイブリッド開催

★コロナ感染状況によって完全オンラインになる場合もあります★

【定員】会場：40名程度、Zoom：定員なし

【参加費】各回1,000円、3回通して2,500円

※事前申込み必須

【主催】(特活)NGO福岡ネットワーク

【申込・問合せ】会場参加：FUNNホームページの申込みフォームから申込み、オンライン参加：Peatixで受付

※どちらも2022年1月よりFUNNホームページをご確認ください

【各日程・講師紹介】

- 第1回：2022年2月19日（土）14:00～16:30  
『平和構築と開発援助にかかわる～アフガニスタンを事例として』  
・林裕氏（福岡大学商学部貿易学科准教授）  
・浦田菖平氏（元ペシャワール会PMS支援室）
- 第2回：2022年2月26日（土）14:00～16:30  
『多面的な視点で平和を考える～NGOの活動現場の経験から』  
・今井高樹氏（日本国際ボランティアセンター代表）  
・認定NPO法人 地球市民の会（予定）
- 第3回：2022年3月05日（土）14:00～16:30  
『平和をつくるためのアドボカシーって？そして私たちにできることは？』  
・木口由香氏（メコンウォッチ事務局長）  
・楠原圭子氏（アジア開発銀行福岡フォーラム）  
・フレンズ国際ワークキャンプ九州





# 外務省NGO相談員活動レポート

外務省NGO相談員とは、国際協力分野で経験と実績をもつ日本のNGO団体が外務省の委嘱により「NGO相談員」となり、NGOの国際協力活動・NGOの設立・組織の管理・運営など、市民やNGO関係者からの質問・照会にお答えする制度です。NGO福岡ネットワークは外務省から委託され、この事業を2000年から継続して取り組んできました。今後も皆様からの数多くの相談を受け付けています。



## 10月30日は「おおいたワールドフェスタ」で出張サービス！

黒マントにシンデレラドレスの子ども達、鬼滅の刃のコスチュームに身を包んだ若者、ここはハロウィンパーティー？…いえ、大分市内で開催されたワールドフェスタの会場でした。FUNNもブース出展。大勢の訪れてくださった皆さんとSDGsクイズをしたり、NGOの話しをしたり、楽しいひと時を過ごしました。留学生の皆さんやアフリカの教育支援をしているグループ、にほんご教室ネットワークなど、地域でがんばってられる皆さんに出会えたことも収穫でした。

## 10月31日、「さが国際フェスタ」にNGO出張サービスで参加しました

大分に続いて「さが国際フェスタ」(@小城公園)にも参加しました。当日は天候も良く10月末とは思えないくらい暑かったですが、多くの方がイベントに参加し会場はとても盛り上がっていました。FUNNはNGO相談ブースを設け、民芸品やフェアトレードコーヒー/紅茶の販売を行いました。ブースを訪れた方からは、「福岡で活動しているNGO団体を知れてよかった」「フェアトレードに関心を持った」「学校で人権に関する講演をお願いしたい」などのお声をいただきました。



### 編集後記

本年中は格別のお引き立てを賜り、誠に有難く厚く御礼申し上げます。来る年の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。来年も変わらぬお引き立てのほど、よろしくお願い申し上げます。(小原)



### 正会員団体リスト

- \* (特活) ISAPH
- \* アジア開発銀行福岡NGOフォーラム
- \* (特活) アジア女性センター
- \* (特活) エスペランサ
- \* NGO Earth for Children
- \* (特活) 九州海外協力協会
- \* 債務と貧困を考えるジュビリー九州
- \* 佐賀NGOネットワーク
- \* JVC九州ネットワーク
- \* (特活) じゃっど
- \* 認定NPO法人地球市民の会
- \* チベットを知る会
- \* NPO法人トゥマンハティふくおか
- \* 国際協力NGO NESTEP
- \* ネパール歯科医療協会(ADCN)
- \* 芭蕉繊維研究会
- \* (特活) バングラデシュと手をつなぐ会
- \* PP21ふくおか自由学校
- \* 福岡YMCA
- \* フレンズ国際ワークキャンプ九州
- \* (一社) ミドリゼーションプロジェクト
- \* モザンビークのいのちをつなぐ会

NGO福岡ネットワーク **FUNN**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



〒812-0011

福岡市博多区博多駅前3-6-1小森ビル4 A 福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」内

TEL/FAX : 092-405-9870 Email: funn@ngofukuoka.net URL: <https://ngofukuoka.net/>

◆◇NGO相談を受け付けています(外務省委嘱)◆◇

\* 営業時間：火～土 13:00～18:00 \* 日・月・祝・・・休み

※専用駐車場がありませんので、自動車での来所はご遠慮ください。